



京都大学観光MBA特別講座

観光業界の経営実践セミナー

現在、国際的に成長する旅客需要を背景にして、観光立国を進めることが、新たな産業成長課題となっている中、観光産業においては、生産性向上とサービス革新に、また観光地域においては、地域経営と文化発信に、それぞれ経営課題を持ちながらも、なかなか発展が進まない例も見られます。今後も引き続き、日本への観光客急増が予想されるとともに、観光産業をより盛り上げていくことが求められています。そのためには、観光地域の文化と魅力をきちんと分析し、創造・発信する観光における「経営能力」を持つ人材が欠かせません。

「グローバルな観点から観光の地域と産業について、その個性、強み、文化を理解する」「顧客の体験を革新するサービスを創造する」「内外にその魅力を発信する」など、観光経営人材の育成には様々な能力が求められます。

そのような背景の中、京都大学経営管理大学院では、世界有数の観光都市京都において、国際的に認証された経営学修士の経営科学コース(観光MBA)を開講し、日本の観光の地域と産業を活性化する経営人材の育成を実施しています。

今回のセミナーではそのエッセンスを提供するとともに、観光業界での経営実践に役立つ内容を紹介します。観光産業の経営や地域の行政などに携わっている方々、あるいはそうした分野でこれから事業を起そうとしている方々など、観光経営の基本的な考え方を学ぶと共に、観光の地域や事業の経営の仕方について学びたい方のご参加をお待ちしております。

日時

2019年

2月15日(金)
9:30-17:15

2月22日(金)
9:30-18:30

場所

京都アカデミアフォーラム in 丸の内

〒100-6510 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10F

プログラム

● 2月15日(金)

- 9:30-11:00 「観光経営学Ⅰ」
前川 佳一 (京都大学経営管理大学院 特定准教授)
- 11:15-12:45 「デスティネーションマネジメントとDMO」
大社 充 (NPO法人グローバルキャンパス 理事長/GCJ総研所長)
- 14:00-15:30 「京都市観光協会の戦略」
堀江 卓矢 (公益社団法人京都市観光協会 企画推進部DMO企画主幹)
- 15:45-17:15 「観光経営学Ⅱ」
前川 佳一 (京都大学経営管理大学院 特定准教授)

● 2月22日(金)

- 9:30-11:00 「日本における宿泊産業・投資」
池尾 健 (Flat Collaboration合同会社 Founder/Portfolio Worker、
京都大学経営管理大学院 非常勤講師)
- 11:15-12:45 「ホスピタリティアセットマネージャーの役割」
池尾 健 (Flat Collaboration合同会社 Founder/Portfolio Worker、
京都大学経営管理大学院 非常勤講師)
- 14:00-15:30 「来たるべきキャッシュレス社会へ向けたリクルートの取り組み」
塩原 一慶 (株式会社リクルートペイメント 代表取締役社長)
- 15:45-17:15 「サービス企業におけるやる気づくり」
若林 直樹 (京都大学経営管理大学院 教授)
- 17:30-18:30 ラップアップセッション
前川 佳一 (京都大学経営管理大学院 特定准教授)

対象

観光に関わる次世代経営幹部、観光関連企業・団体でマネージャー職の方、新しく観光分野での新規事業の企画をしたい方

定員

50名程度

受講料

単日:18,000円
両日:32,000円

申込・詳細

<https://www.kyodai-original.co.jp/?p=2674>

申込締切

2019年2月12日(月)



主催 京大オリジナル株式会社
共催 京都大学経営管理大学院

問合せ先

京大オリジナル株式会社
研修・講習事業部
TEL:075-753-7778
E-mail:kensyu@kyodai-original.co.jp



2月15日(金)

「観光経営学 I」 前川 佳一

ひとくちに観光と言っても、さまざまな切り口があります。「観光△□学」の△□に入るものとしては、社会、歴史、地理、文化、環境、などなど。この講義では必ず「観光経営学」の視点で、京都の、そして日本の観光を考えていきます。ポイントは、サービス・マネジメントの応用です。

「Destination ManagementとDMO」 大社 充

地域の視点にたった地域主導型観光を推進する観光地マネジメントの考え方や、その中核となるDMO (Destination Management/Marketing Organization) について解説する。

「京都市観光協会の戦略」 堀江 卓矢

オーバーツーリズムを初めとした、観光における最先端の課題に直面する京都ならではの観光地経営の戦略と、都市型DMOが担うべき本来の役割について、マーケティング責任者の立場からお伝えします。

「観光経営学 II」 前川 佳一

以前、製造業が日本の産業を支えた時期が確かにありました。果たして今後、観光産業がその座を担っていく可能性はあるのでしょうか？ どのようにすればそれが可能になるのでしょうか？おそらく、製造業の発展に寄与したマーケティングやイノベーションの理論を、観光業でもしっかりと応用できる枠組みが役に立つでしょう。

2月22日(金)

「日本における宿泊産業・投資」 池尾 健

日本における宿泊産業・施設の歩みを俯瞰し、そのうえで近年2000年初頭から始まる不動産証券化、不良債権化の処理に伴う投資対象としての位置づけへの変遷を追っていきます。またその投資家の属性や特徴による、リスクリターンの見立て、短期・中長期の時間軸の認識の差異を分類して明示します。

「ホスピタリティアセットマネージャーの役割」 池尾 健

「所有と運営の分離」という概念に必ずしも当てはまらない日本の所有・運営形態の中で、多面的な側面で関係者の利害を調整するアセットマネージャー。本来の投資家保護という観点だけではなく、異なる背景を持つ利害関係者の「良き通訳者」としての存在意義について説明します。

「来たるべきキャッシュレス社会へ向けた
リクルートの取り組み」 塩原 一慶

なぜいま決済なのか？ 決済を取り巻く大きな潮流や日本における障壁、事業者と消費者との間にある誤解、その中でリクルートのサービス展開、地域への取り組みについてお伝えします。

「サービス企業におけるやる気づくり」 若林 直樹

典型的な労働集約型産業である観光産業は、ヒトが最も重要な経営資源です。ヒトのやる気を活性化することは、経営の上で重要な課題です。ここでは、広くサービス企業全般を意識しながら、やる気の活性化にどのような取り組みが必要かについて議論いたします。

前川 佳一

京都大学経営管理大学院 特定准教授

京都大学工学部卒業(1982年)、三洋電機(株)入社、映像機器やデジタル機器の技術・事業企画に従事。ボストン大学MBA(1995年)、神戸大学大学院・博士(経営学)(2007年)。2008年4月より現職。著書に『パズル理論』(白桃書房、2013年)など。



大社 充

NPO法人グローバルキャンパス 理事長／GCJ総研所長

京都大学農学部水産学科卒。1985年、(財)松下政経塾に入塾。2000年にNPO法人エルダーホステル協会を設立して専務理事。2004年、組織変更によりエルダー旅倶楽部(現・NPO法人グローバルキャンパス)を設立し現職。観光まちづくり人材育成にも取り組み、2008年度「南房総観光カレッジ」(千葉県)、2009年度「高梁川学校」(岡山県)を統括コーディネーター。市町村職員中央研修所「観光戦略の実践と地域活性化」、全国市町村国際文化研修所「自治体のイメージ戦略」などで研修カリキュラムの企画&講師を担当。2009年～2011年、「全国地域オペレーター創造ネットワーク」代表世話人として集客交流サービスを担う観光まちづくり事業体(DMC: Destination Management Organization)の全国ネットワークづくりを進め、「DMC事業運営人材育成」(主催:日本観光協会)を全国約70地域で開催。



堀江 卓矢

公益社団法人京都市観光協会
企画推進部DMO企画 主幹

京都大学大学院農学研究科修了後、株式会社三菱総合研究所入社。行政事業の政策評価や、経済効果分析、観光マーケティング業務に従事したのち、京都市観光協会へ転職。マーケティング責任者として、戦略策定や、データ分析、メディア運営を手がける。



池尾 健

Flat Collaboration合同会社 創業者、
京都大学経営管理大学院 非常勤講師

ホテル運営実務に携わった後、New York Universityにてホテル投資・ファイナンスの修士号取得。その後、ゴールドマン・サックス、フォートレス・インベストメント・グループにて、ホスピタリティ投資プラットフォームの構築を主導、数々の事業再生案件に携わる。2017年7月より、観光立国を担う人材育成、関連する教育・研究機能の再定義をテーマに独立、起業。



塩原 一慶

株式会社リクルートペイメント
代表取締役社長

2016年2月株式会社リクルートライフスタイル入社。2017年4月より現職。IT&Web領域における幅広い知識と経験、金融、決済に関する深い知見をもとに、決済事業の責任者を担当



若林 直樹

京都大学経営管理大学院 教授

東京大学大学院社会学研究科博士課程中退、京都大学博士(経済学)。東北大学、京都大学助教授を経て、現職。専門は組織行動論、人的資源管理論、ネットワーク組織論。著書に『企業変革の人材マネジメント』(共編著、ナカニシヤ出版、2008年)、『ネットワーク組織』(有斐閣、2009年)など。

